

◆観光企画・作品賞

著者：前川啓治編著

書名：『フットパスでひらく観光の新たな展開―あるく・まじわる・地域を創造する』

出版社：ミネルヴァ書房

出版年月：2024 年 3 月

本書はフットパス・歩く観光をテーマにした研究論文集である。

序章（「歩く、創る」）はフットパスに代表される「歩く」ことへの社会的注目の背景について、オールタナティブツーリズムと再帰的近代化が触れられたうえ、コモンズ、フットパスなどについての概要、問題背景が説明される。

第1章（「日本におけるフットパスの広がり」）では、フットパスとは何か、そして日本におけるフットパスの現状が紹介され、地域資源のオープンアクセスについて最後に議論されている。

第2章（『『歩くこと』と『コミュニティづくり』』）では、フットパス運動発祥の地域である英国のフットパスの説明のあと、フットパスを用いたツーリズム活動やそれを支える組織について紹介される。

第3章（フットパスとアクセス・ランド）では、日本のフットパスと英国のフットパスの比較の視点を取り入らながら、英国の制度を中心に紹介され、パブリックアクセスの法的な論理や所有権についての議論が行われる。

第4章（「新たな地域のつながりを創る」）では、日本の事例を中心に、地域で展開される分散型観光やワーケーションの実践が紹介されている。

フットパスについて英国での背景・概要・現在の展開状況が紹介されており、近年重要な観光のトレンドともあわせみると、本書出版の意義は大きい。また著者たちの関心が法・制度にあるため、フットパスへの総括的な入門に加えて、フットパスの成立や展開にとって重要であろう法制度などの専門的観点からの議論も含まれており有益である。

繰り返しになるが、観光の多様化・多元化のなかで「歩く観光」の再評価は時宜に適うものであり、本企画は観光研究者のみならず自治体職員や各種団体にとって一読の価値がある優れた著作であり、観光企画・作品賞にふさわしいと判断した。